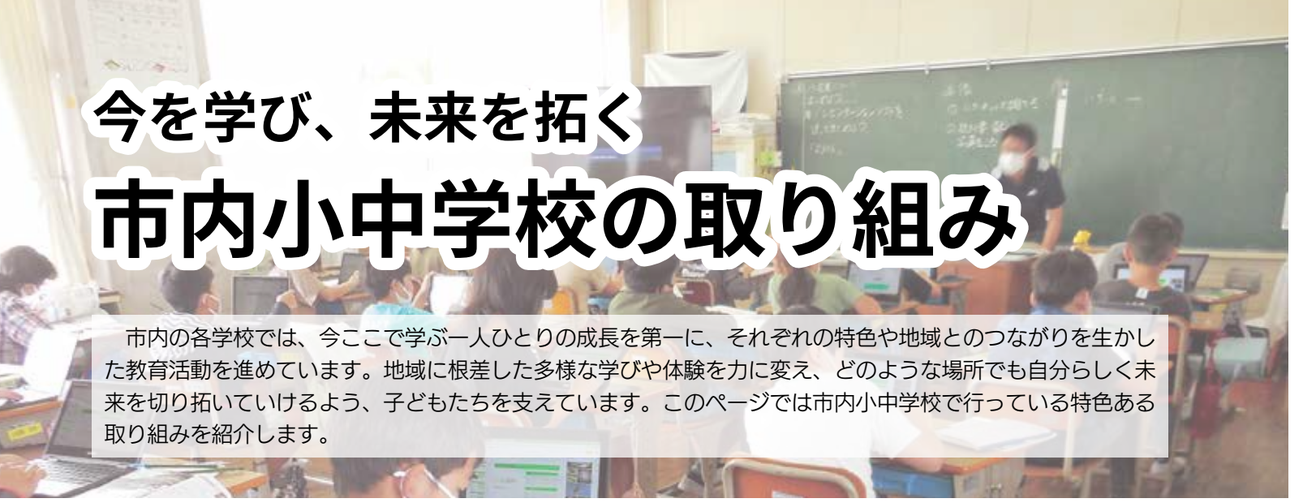


今を学び、未来を拓く
市内小中学校の取り組み

市内の各学校では、今ここで学ぶ一人ひとりの成長を第一に、それぞれの特色や地域とのつながりを生かした教育活動を進めています。地域に根差した多様な学びや体験を力に変え、どのような場所でも自分らしく未来を切り拓いていけるよう、子どもたちを支えています。このページでは市内小中学校で行っている特色ある取り組みを紹介します。

村田小学校



地域での豊かな経験を力に 児童が伸び伸び活躍する学校

本校は、「知･徳･体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成」を目指し、今年度は、『みんなで　かがやく　村田小』をテーマに教育活動をしています。

本校の児童は、地域の人々に支えられています。地域の偉人「雪村」に関する学習、キウイ狩りや農家見学、そして全校で行うサツマイモの栽培や稲作活動など、豊かな経験とともに健やかに成長しています。これらの経験は、児童の自己実現の土台となっています。親子活動や児童会活動、各学級での係活動など、多様な場で児童は伸び伸びと活躍しています。

村田小は、16年前の小場小との統合を経て、創立124年を迎えました。今後も保護者の皆さんや地域の人々への感謝の思いとともに、「みんなで　かがやく」ため、力を尽くしてまいります。

上野小学校



伝え合い、地域に学び、 学年を超えて力を合わせる

本校は、開校152年目を迎える歴史ある伝統校です。今年度は学級数８学級、児童数163人でスタートしました。学校の教育目標「よく学び　げんきで　なかよく」のもと、教育活動を推進しています。

授業では、自分の考えを相手に伝え、相手の意見を受けとめることで、表現力を高める教育に取り組んでいます。さらに地域の人材資源を活用し、泉坂下遺跡や雪村などについても学び、郷土を愛する児童を育成しています。

特色ある学校行事では「全校歩く会」を10月下旬に実施しました。１～６年生の縦割りによるグループで地域を歩き、ゴールを目指しながら、異年齢で協力する大切さを学びます。

今後も学校、保護者、地域が一体となって教育に取り組んでいきます。

大宮小学校



健やかな心と体を育み、 主体的に学ぶ学校づくり

本校は、「児童が主体的に学び、笑顔あふれる活力ある学校」を目指し、学力向上と健康体力の増進を大切にした教育活動を推進しています。

健康面では、むし歯のない児童が多く、健康な生活習慣が育っています。また、体力向上の取り組みが評価され、昨年には県教育委員会から「体力つくり奨励賞」を受賞しました。

学習面では、ICT機器を効果的に活用しています。全国学力･学習状況調査では「ICT機器を使ってプレゼン資料を作成できる」と答えた児童は９割を超え、全国平均を大きく上回りました。

今年度は学びのイノベーション推進事業を通して、主体的に学ぶ力の育成を図っています。また、平成13年から秋田県大館市との交流も続いており、地域を越えた学びも大切にしています。

大賀小学校



小規模校のよさを生かした 大賀小だからこそできる教育

本校は、創立140年を迎え、地域の信頼に支えられ、「児童一人一人が輝く学校づくり」に取り組んでいます。

地域の人的・物的教育資源を積極的に活用した体験的な活動と、児童の主体的・協働的な学びを推進し、自己肯定感を高めるとともに、多様な体験を通して、表現力や課題解決力、地元に対する愛郷心を育んでいます。

これまで、鮎の放流やサツマイモ栽培、真竹収穫、道の駅での物販体験、収益を活用した社会活動、地域住民と合同の運動会や防災体験などを行いました。また、パラオ共和国との交流など、外国語活動にも力を入れています。

さらに、異学年交流や善行賞の授与などで、児童一人ひとりの活躍の場を広げ、互いのよさを認め合い、ともに成長する児童の育成に努めています。

大宮北小学校



一人ひとりの「なぜ」に 寄り添い、自信を育む

教育目標の「好きを育み、得意を伸ばす、笑顔あふれる学校【わくわく　にこにこ　きらきら】」の達成のため、全教職員で教育活動に取り組んでいます。

児童が主役の「『させる』から『支える』授業づくり」への転換を図り、「なぜ」「もっと知りたい」を引き出す教育に力を入れています。少人数指導ならではの丁寧な関わりと、失敗から試行錯誤し学びを深める授業で、児童の自己肯定感と自己有用感を育んでいます。

さらに、地域の支援のもとで様々な体験活動を行い、多様な人材と関わりながら、「こども歌舞伎」などの地域の伝統文化を継承し、地域を担う子どもたちの育成に取り組んでいます。

今後も、「わくわく　にこにこ　きらきら」な児童の姿を実現する活力ある学校づくりを進めていきます。

大宮西小学校



学年を超えて力を合わせ、 仲間とともに育つ

本校は「仲間とともに育つ学校づくり」をテーマに教育を行っています。

毎年10月に行われる運動会でも、児童は、学年を超えて、仲間と力を合わせて競技や表現活動に精一杯取り組みます。応援合戦や係の役割を通して全校を引っ張るのは、本校のリーダーである高学年児童です。

そんな高学年児童がひときわ輝く姿を見せるのが、オープニングを飾るフラッグパフォーマンスです。５・６年生全員が、大きな旗や布を巧みに操り、音楽に合わせて次々と隊形を変える姿は下級生の憧れです。息の合った演技を見せるために、５・６年生はプライドをもって、真剣に練習を積み重ねます。10月24日に行った運動会でも、高学年児童は見事な演技を披露し、会場からの大きな拍手に包まれました。

山方小学校



「スマイルタイム」で育む、 認め合い支え合う心

校歌「スマイル」にちなみ、児童と一緒に笑顔あふれる活動を考え、実践しています。月１回の「スマイルタイム」では、異学年交流を通して、思いやりの心や主体性、協働する力を育んでいます。地域の協力のもと、多様な体験活動を行っています。縦割り班で計画･運営することで、高学年はリーダーシップを、低学年は上級生を手本に学ぶ姿勢を育み、互いに認め、支え合う関係づくりにつなげています。

また、清掃活動にも意欲的に取り組んでいます。異学年で協力しながら、隅々まで丁寧に清掃することで、働くことの大切さや責任感、公共の場を大切にする心を育んでいます。

今後も、児童が主体的に活動し、互いのよさを認め合える学校づくりを推進してまいります。

山方南小学校



自ら考え発信する力を育て、地域での体験から学ぶ

本校の教育目標は「自ら学び 心豊かで たくましい児童の育成」です。今年度は、「ウェルビーイングな学校」実現に向け、様々な取り組みを行っています。これまでには、児童が自分の考えをもち発信するための「書く力、アウトプットをする力」の育成、時間割の工夫･改善、近隣保育園･小中学校との連携の強化を図ってきました。

また、地域の人々とのふれあいや体験活動も盛んです。初夏にはじゃがいも掘りやホタル観察会、秋には山方南ふれあいの集いや野上太鼓保存会の和太鼓体験、冬には校内持久走の応援など、多くの人々の協力のもと、児童は学んでいます。今後も常陸大宮市の掲げる「郷育」を大切にし、全児童が笑顔と思いやりあふれ、生き生きと活動する楽しい学校を目指します。

美和小学校



「学びたい」を引き出し、多様な体験で生きる力を育む

「自ら学び　心豊かで　たくましく生きる児童の育成」を教育目標に掲げ、児童一人ひとりの可能性を大切にしながら、地域や保護者と連携し、誰もが輝く学校づくりに取り組んでいます。

児童の「学びたい・やってみたい・考えたい」という意欲を引き出し、すべての児童が安心して参加し、達成感を味わえる授業を実践しています。また、午前中5時間授業を導入し、午後に補充学習「美杉タイム」を設定することで、個に応じたきめ細かな支援を行い、確かな学力の定着を図っています。

さらに、全学年によるビオラの栽培・販売をはじめ、1・2年生の野菜づくり、5・6年生の田植え・稲刈りや手箒づくりなど、豊かな体験活動を通して工夫する力ややり抜く力を育み、将来のキャリア形成へとつなげています。

緒川小学校



地域の行事や名人と関わり、ふるさとへの誇りを育む

本校は「地域とともにある学校」を目指し、「みんなでよくなる」を合言葉に、地域に支えられながら、児童の成長を育んでいます。

今年度は、本学区の伝統ある立野神社の祇園祭に子供神輿（みこし）やオカリナ演奏で参加しました。暑さや安全対策、運営面での調整など、多くの課題を経て、児童は、教職員や保護者、地域の人々が見守る中、地域の一員として貴重な経験をすることができました。

また、総合的な学習の時間には、シイタケやサツマイモの栽培、枝物、芝桜、和菓子など、緒川地域の名人から学び、本物に触れる豊かな体験を通して、地域への理解を深めています。

今後も「郷育立市」の理念のもと、ふるさとのよさを実感し、地域に誇りをもつ児童を育んでいきます。

御前山小学校



豊かな自然を体験し、地域とともに歩む学校

本校は、平成21年に伊勢畑小･長倉小･野口小の３校が統合して誕生した比較的新しい学校です。今年度は全校児童79人の小規模校ですが、地域の豊かな自然を生かした魅力ある教育活動に取り組んでいます。

春の田植えやビオトープ探検、夏のカヌー体験、秋の稲刈り、芋掘り、ごぜんやままつりなど、学校運営協議会を中心に、地域の人々が児童のために多彩な体験活動を温かく支えてくださっています。

今後は「地域に支えられる学校」から「地域とともに歩む学校」へと歩みを進め、「学校が地域のためにできること」へと視点を広げてまいります。学校が地域の課題解決の一助となれるよう、共に取り組んでいきます。

大宮中学校



伝統を受け継ぎ、夢や希望へ挑むやりがいのある学校

昭和22年の開校以来、大場中・世喜中・第一中との統合を経ながら、地域と共に歩んできた歴史と伝統を誇る学校です。昭和27年に制定された校訓「自主・責任・協同・健康・勤労」を伝統の柱とし、地域に根ざした郷育を長年にわたり推進しています。

学校教育目標には、「夢や希望の実現のために意欲的に努力する生徒の育成」を掲げ、生徒会や学校行事など生徒が主体的に活動し、さらにICTを活用しながら学力向上に向けた授業改善にも取り組んでいます。

生徒・教職員・保護者・地域が一体となり、「安心・安全な学校として、みんなが楽しむ大宮中学校」を目指し、日々の授業や学校行事を通して、自ら考え行動する力を育て、未来へと力強く羽ばたく生徒を育んでいます。

第二中学校



「チーム二中」で支える、一人ひとりの学びと未来

本校は、「一人一人が輝くことを大切にし、自ら学ぶ生徒の育成」を目指して教育活動に取り組んでいます。

その土台となるのが「二中学びプロジェクト」です。「分かる授業を目指した二中授業スタイル」、「学級や一人ひとりの特性・分析結果に応じた指導と支援」、「生徒会活動の活性化」などを柱に、様々な角度から生徒の成長を支えています。

また、市内事業所などでの職場体験学習、プロ野球選手や笛師など各分野で活躍する人々の講演会、卒業生から話を聴く会など、社会的自立に向けた力と自らの可能性を広げる力を育てるキャリア教育にも力を入れています。

これからも、保護者・地域とともに「チーム二中」として、生徒一人ひとりのよりよい成長を全力で支えていきます。

山方中学校



「みそあじさ」で自律を育み、互いに認め合い、挑戦する

「自らに誇りをもち、進んで行動できる生徒の育成」を教育目標に掲げ、生徒一人ひとりの可能性を伸ばす教育を推進しています。

生徒の知的好奇心や意欲を引き出す授業づくりと、互いの個性を尊重し認め合う集団づくりを進めています。また、社会に出ても通用する規範意識を身につける合い言葉として「みそあじさ（身なりを整える･掃除に誠実･進んであいさつ･時間を大切に･最後まで聴く）」を日々の行動指針として実践し、豊かな人間性を育んでいます。

さらに、生徒たちが失敗を恐れず挑戦できる場を積極的に創出し、家庭や地域と連携して、生徒の成長を支えています。郷土への愛着と誇りを胸に、将来、地元に貢献できる人材の育成を目指した学校作りに取り組んでいます。

明峰中学校



中高一貫の学びで、地域と歩み、夢の実現を支える

本校の学校教育目標は、「ふるさとを誇りとし　人間性豊かで　たくましい生徒の育成」です。全職員で、生徒一人ひとりと向き合いながら落ち着いた日々を過ごしています。また、本年度の重点として、「自ら考え行動できる生徒の育成」とし、自律と対話を軸に、教育活動を進めています。

小瀬高等学校とは、連携型中高一貫校として、「福祉体験」や「ふれあいキャンパス」といった行事などで交流を深めています。中高生が共に活動しながら、「地域の中で歩み、地域に貢献できる生徒」の育成をめざします。

今後も「チーム明峰」として、家庭･地域との連携を深め、生徒が夢を実現する一歩を踏み出せる教育活動を多く取り入れ、自ら考えて行動できるよう支援していきます。